

国際大会参加報告書

2010年 11月 7日

社団法人 日本ボディビル連盟
会長 玉 利 齊 様

報告者 朝 生 照 雄 (印)

大会名	男子アジア選手権大会				
開催期間	2010年 10月 19日 ~ 10月 21 日				
開催場所	国名:バーレン王国		都市名:マナーナ市		
参加国数	22 カ国		参加選手数	90名	
役員		役員名	役職・他		
	団長	吉 田 進	(社)日本ボディビル連盟 副会長		
	監督	朝 生 照 雄	(社)日本ボディビル連盟 選手強化委員長		
	コーチ	なし			
	通訳	なし			
選手	選手名	所属連盟	カテゴリー	順位	備 考
	甲 田 敦	長 野	60kg	6	8人中
	津 田 宏	東 京	60kg	3	8人中
	山 崎 岳 志	大 阪	70kg	3	5人中
	片 川 淳	山 口	75kg	—	11人中6位には入賞せず、詳細不明
	鈴 木 雅	東 京	80kg	—	10人中6位には入賞せず、詳細不明
	相 川 浩 一	東 京	85kg	—	12人中6位には入賞せず、詳細不明
	井 上 浩	大 阪	90kg	—	9人中6位には入賞せず、詳細不明
レポート	<p>第44回アジア選手権は新制アジア連盟 (AFBF) となってから第2回目の大会となり、大会参加国、選手数が懸念されたが、多くの参加が見られ盛大に行われた。</p> <p>しかし、準備不足が甚だしく参加手続き、会議、競技運営等に不手際が目立ち、選手役員とも情報が少ない中、チームワーク良く一応の結果を残すことは出来た。大会においてはポスター、プログラム、記念の物も無く(終了後のリザルトの配布も無し)大会に観客は集まるのか心配したが、始まってみると、大会事態のレベルは高かった。もともと中東アジアは中、重量級は強く今回も75kgから</p>				

※ 本報告書は帰国後1ヵ月以内に大会結果表を添付して日本連盟事務局に提出して下さい。

※ レポート欄が足りない場合は別紙に記入して添付して下さい。